

平成31年度沼津市洪水避難対策方針検討業務委託 契約候補者選定に係るプロポーザル

質問に対する回答

No.	質問	回答
1	過去5年間の同種業務実績について、業務内容やテクリスでの業務キーワードなど、同種業務となり得る判断基準をお示しください。	参加要領や仕様書の記載から同種業務となり得るかご判断ください。
2	配置予定技術者の保有資格に関する要件がございましたらご教示願います。	要件はありません。
3	参加資格要件に「(6)過去5年間において国及び地方公共団体の同種業務受託実績を有しない者」とありますが、同種業務の具体的な内容をご教示願います。	本プロポーザル参加者が同種業務受託実績を有するかは、提出された参加要領7(1)②同種業務実績表(様式2)の記載で判断します。参加要領や仕様書の記載から同種業務となり得るかご判断ください。
4	公募仕様書2業務内容の(4)に、「逃げ遅れゼロを目標としたタイムラインを踏まえた検討を行う」とありますが、「逃げ遅れゼロを目標としたタイムライン」とは、既往検討で作成された既存のタイムラインを指すのでしょうか。もしくは、本業務で検討するタイムライン(案)を指すのでしょうか。既存のタイムラインを指す場合、企画提案の参考に参照させていただくことはできますでしょうか。	公募仕様書2(4)に記載の「逃げ遅れゼロを目標としたタイムライン」とは、本業務の公募仕様書2(8)において作成する「避難情報発令の判断基準となるタイムライン(案)」を指します。既往のタイムラインを指すものではありません。
5	避難方法の検討や対応方針(案)の作成において「連合自治会単位」で整理する旨が書かれておりますが、対象となる連合自治会の数をご教示ください。	公募仕様書2(6)に記載の「地区別(連合自治会単位)」の対象は、本業務の想定最大規模の浸水想定区域に含まれる連合自治会です。